

共に、お考えください。

安曇野にふさわしい土地利用計画を作るには、皆さんの参画が鍵となります。ぜひお出掛けください。

土地利用・景観シンポジウム

山岳と田園が育むよさを大切に、暮らしやすさをみんなで共有するまちづくりの実現をテーマとしたシンポジウムを開催します。安曇野の土地利用を考える上で、大きなヒントとなるはずです。

◎日時 11月18日(日) 午後1時30分～4時

◎会場 豊科公民館ホール



パネリスト
涌井 史郎さん

造園家、桐蔭横浜大学
特任教授



パネリスト
庵 豊さん

松本大学観光ホスピタ
リティー学科教授



パネリスト
中村 麻美さん

日本画家



パネリスト
山田 桂一郎さん

スイスツエルマツト観
光局アジア地区セール
スプロモーション担当



コーディネーター
扇田 孝之さん

地域社会研究家

第2回地区別懇談会

専門委員会、市民検討委員会で検討したことをもとに、どんなまちにしていくか、そのためのルールづくりをどのようにしていくかを考え、皆さんの意見をお聴きする場として、市内20カ所で懇談会を開催します。どの地区の参加も可能です。各回とも午後7時～9時を予定しています。

月日	A 会場			B 会場		
	場所	地域	対象区	場所	地域	対象区
11/12(月)	穂高総合支所 大会議室	穂高	矢原・白金・ 等々力・ 等々力町	豊科保健センター ふれあいホール	豊科	上鳥羽・ 下鳥羽・ 本村・吉野
11/14(水)	穂高総合支所 大会議室	穂高	穂高町・ 穂高	豊科保健センター ふれあいホール	豊科	成相・新田
11/16(金)	J A あづみ 北穂高支所	穂高	狐島・ 青木花見・ 島新田	明科公民館 講堂	明科	大足・宮中・ 町・明科・光
11/19(月)	J A あづみ 有明支所	穂高	橋爪・耳塚・ 富田・豊里・ 小岩嶽	豊科保健センター ふれあいホール	豊科	真々部・たつみ原・ 筋田・下筋田・ 中曾根・熊倉・ アルプス
11/21(水)	J A あづみ 有明支所	穂高	嵩下・新屋・ 古厩・宮城・ 立足	豊科保健センター ふれあいホール	豊科	徳治郎・田沢・ 小瀬橋・大口沢・ 光・桜坂

月日	A 会場			B 会場		
	場所	地域	対象区	場所	地域	対象区
11/26(月)	J A あづみ 西穂高支所	穂高	牧・塚原・久保田・ 柏原・穂高田地・ 柏矢町	豊科保健センター ふれあいホール	豊科	寺所・踏入 細堂・重柳
11/28(水)	明科公民館 講堂	明科	潮・潮沢・ 木戸・上生野・ 南陸郷	三郷公民館 講堂	三郷	七日市場・ 一日市場
11/30(金)	三郷公民館 講堂	三郷	二木・及木・ 中萱	明科公民館 講堂	明科	上押野・ 下押野・ 塩川原・荻原
12/3(月)	三郷農村環境 改善センター	三郷	野沢・上長尾・ 下長尾・楡・ 住吉	小田多井 交流センター	堀金	小田多井・ 田尻・ 田多井
12/5(水)	堀金総合支所 別館大会議室	堀金	岩原・倉田・ 上堀・中堀・ 下堀・扇町	三郷小倉地区 多目的研修センター	三郷	北小倉・ 南小倉・ 東小倉・室町

問 都市建設部都市計画課計画係 (TEL72・3111 FAX72・8340)

大規模開発の 対応は

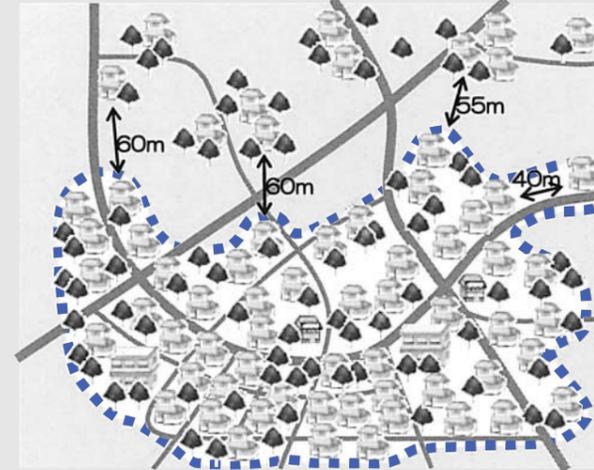
宅地分譲・ショッピングセンター・工場などの一定規模以上の大規模開発については、「安曇野の自然環境や景観を壊す反面、地域の活性化・住民の利便性・働く場所の創設につながる」ことから、住民が立地を判断するための条件、面積・種類などを整理し、地域との合意を図りながら進めるシステムを検討するべき」といった意見が出されています。

山麓別荘・観光地の あり方は

山麓別荘・観光地(E地域)のあり方については、「別荘・観光を意図とした区域として位置付け、集落居住区域(B,C区域)との違いを明確にする必要がある」、「現在設定しているルールを保持し、環境保全に努める必要がある」といった意見が出されています。

集落居住区域を どの程度厳密に 定めるべきか？

委員会では、農地・農業を保全し、既存集落付近への新たな宅地の集約をしていくためには、その集落の範囲を、どの程度厳密に定めていくかについて、検討し問題点と、そのための工夫を考えています。
(仮設定した50戸・50mは都市計画法に基づく基準となっております)



50戸・50mの区域として仮設定した場合

住宅地・商工地など宅地的土地利用が50m以内の間隔で50戸以上連なる地域を仮設定し、検討しています。

解決のための工夫

- 集落の規模や成り立ちを踏まえた距離や戸数の基準の必要性
- 区画整理を条件とした区域の設定
- 地域づくり(コミュニティ)の単位を考慮
- 町内会での区域のすり合わせ
- 市街化区域、用途地域の見直し
- 区域外の開発許容の研究も必要
- 道路や河川などで分けける。
- 残す農地の重要度(序列)を明確にする。
- 土地交換(貸借)の仕組みづくり
- コミュニティの継続のためにも、新しい人が入りやすい環境、仕組みづくり。

問題点

- 地域や地区の実情に合わないのでは。(基準が厳しい)
- 範囲の対象外になった集落の不満
- 地域コミュニティとの不一致
- 対象範囲が広すぎて当初の理念(虫食い開発の回避・景観保全)ができない。
- 本質的には、田園風景を保つということ(「山、田園」+「地域にあった集落」の枠組みの確保)が大事
- 境界で定めると、その境でもめる。
- 苦しい農家の事情も考える必要性
- 新規の住宅居住者は常会などに入りたがらない。